

市民アンケート調査の

結果をお知らせします

市は、中心市街地地区（宮古駅南側）の拠点施設整備に関する市民アンケート調査を実施しましたので、その主な結果をお知らせします。

調査は「事業の認知度や関心度」「市民の利用意向」などに関する21項目について行い、この結果は建物設計（案）などの検討を進める基礎資料として、計画に反映させていきます。

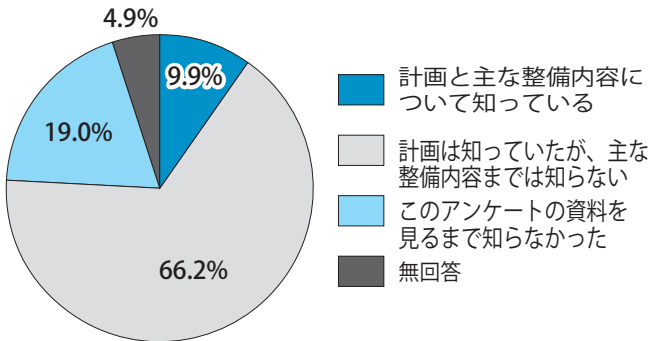
問い合わせ 市復興推進課市街地施設推進室（☎9089）

調査（アンケート）の概要

- 調査期間 6月23日～7月8日
- 調査対象 18歳以上の市民3000人を無作為抽出
- 回収数 1080人（回収率36.0%）※詳しい結果は、市復興推進課（市役所4階）、各総合事務所・出張所、市立図書館、また市ホームページ（<http://www.city.miyako.iwate.jp/fukkou/sigaitisetusuisinnsitutoppu.html>）で閲覧できます



【図1】整備計画の認知度（回答数1080）



整備計画の認知度

現在、宮古駅南側に「新施設」を整備する計画を進めていることについて、「この計画をご存じでしたか？」という問いへの回答結果は左上【図1】の通りです。

整備計画について、「知っている」と回答した人は76・1%と認知度は高く、そのうち、「整備内容まで知っている」と回答した人は9・9%でした。

整備計画への関心度

整備計画へ「どの程度関心を持っていますか？」という問いへの回答結果は次の通りです。

【全体】「とても関心がある」「関心がある」と答えた人の合計が39・9%、「あまり関心がない」「関心がない」とした人の合計が16・8%でした。「どちらともいえない」「わからない」「無回答」と答えた人の合計が43・3%でした。
【年代別】20代以上の世代では、「とても関心がある」「関心がある」と答えた人の割合が最も多く30

〜50%台でした。特に70代以上は51・5%と高い傾向にありました。

センターの利用意向

市民交流センター（仮称）のイメージを紹介して、「利用したい（行ってみたい）」と思いませんか？」という問いへの回答結果は次頁上【図2】の通りです。

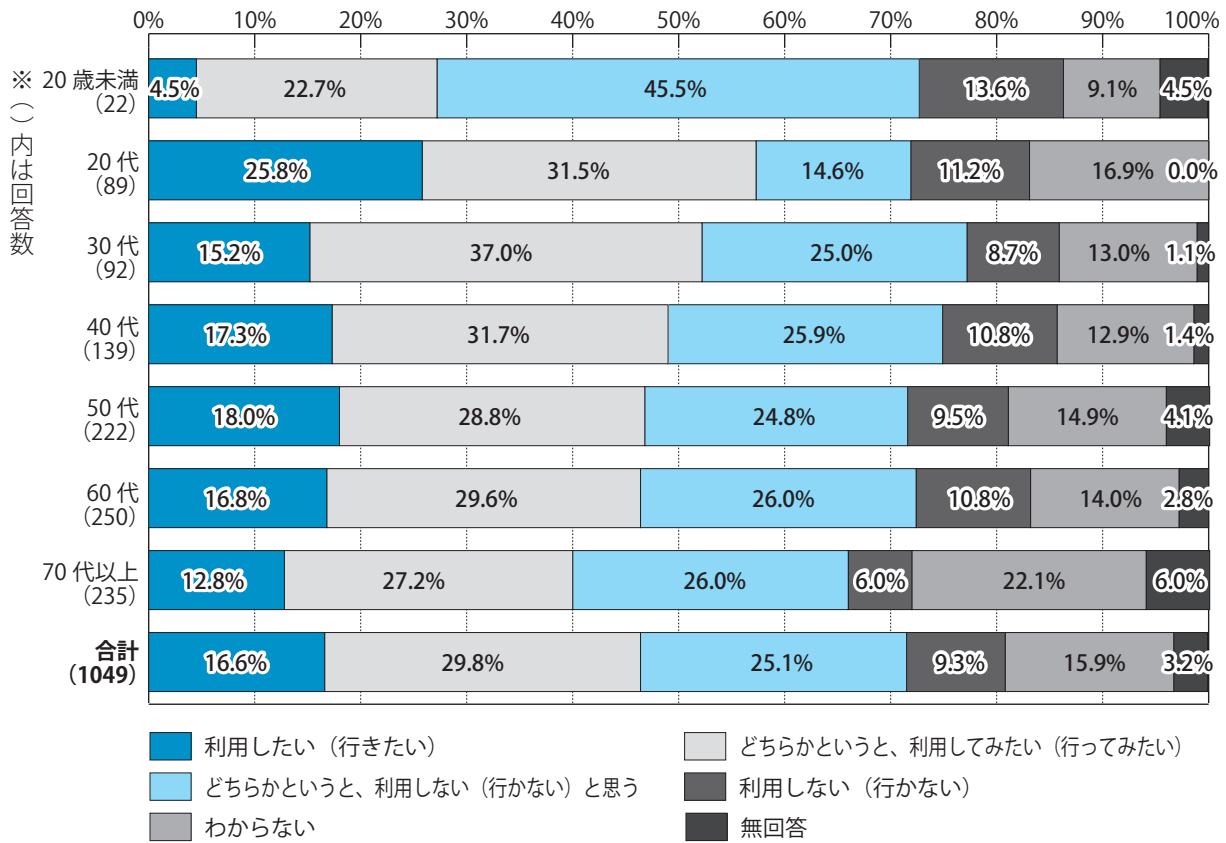
【全体】「利用したい」「どちらか」というと、利用してみたいと答えた人の合計が46・4%でした。また「どちらか」というと、利用しないと思う」「利用しない」とした人の合計が34・4%でした。
【年代別】20代以上では「どちらか」というと、利用してみたいが最も多く、30%前後を占めました。20歳未満では「どちらか」というと、利用しないと思う」が最も多く、45・5%でした。

センター各室の利用意向

市民交流センターの「どの室を利用したい（行ってみたい）」と思いませんか？」という問いへの回答結果は次頁中段【表1】の通りです。

【全体】「ふれあいカフェ」と答え

【図2】市民交流センターの利用意向 ※回答数1049（年齢欄無回答者を除く）



【表1】市民交流センターで利用したい室 ※複数回答（無回答者を除く）

	20歳未満 (22)	20代 (89)	30代 (92)	40代 (139)	50代 (222)	60代 (250)	70代以上 (235)	全体
防災展示学習（体験）室	9.1%	9.0%	12.0%	15.8%	13.5%	15.2%	14.5%	14.3%
多目的ホール	13.6%	10.1%	25.0%	17.3%	24.3%	21.2%	21.3%	20.8%
視聴覚（OA）室	0.0%	5.6%	9.8%	6.5%	9.0%	6.4%	4.7%	8.4%
音楽スタジオ	13.6%	11.2%	12.0%	7.9%	10.4%	10.0%	8.5%	10.1%
軽運動スタジオ	9.1%	28.1%	22.8%	28.1%	24.3%	24.0%	25.1%	25.3%
オープンスペース	27.3%	27.0%	31.5%	19.4%	18.5%	15.6%	11.1%	18.5%
情報提供コーナー	4.5%	22.5%	20.7%	21.6%	19.8%	17.2%	12.3%	18.0%
子どもふれあいコーナー	4.5%	19.1%	20.7%	7.2%	4.1%	3.2%	1.3%	6.6%
ふれあいカフェ	22.7%	42.7%	34.8%	36.7%	31.1%	28.8%	25.1%	32.9%
和室	4.5%	5.6%	6.5%	7.2%	7.2%	6.4%	7.7%	6.9%
創作活動室	9.1%	15.7%	15.2%	12.9%	18.9%	16.8%	4.3%	13.7%
貸室（研修会議室）	0.0%	0.0%	10.9%	6.5%	14.0%	8.0%	6.0%	8.3%

※（）内は回答数。各年代上位3項目は太枠

【市民交流センターのイメージ】



た人の割合が32・9割と最も高く、次に「軽運動スタジオ」「多目的ホール」「オープンスペース」と続いています。

【年代別】20代以上の世代はいずれも「ふれあいカフェ」が最も高く、20歳未満では「音楽スタジオ」、20代と30代では「子どもふれあいコーナー」と答えた人の割合が他の世代よりも高い傾向にありました。

利便性向上のための配慮

市民交流センターの「利便性を高めるために、どのようなことに配慮することが必要ですか？」という問いへの回答結果は下【図3】の通りです。

「親しみやすく、気軽に立ち寄ることができること」と答えた人の割合が44.9%と最も高く、次に「利用料金が安いこと」「土日祝日、夜間でも利用できること」と続きました。

希望する利用の仕方

市民交流センターを「どのように利用したいと考えますか？」という問いへの回答結果は下【図4】の通りです。

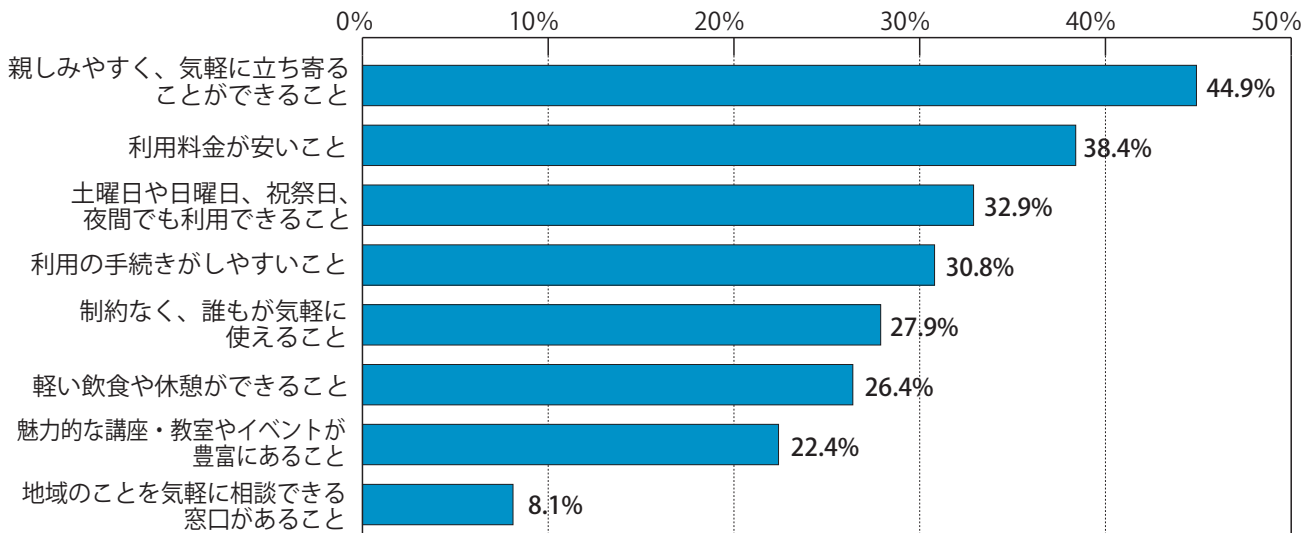
「趣味や教養に関する教室や講座に参加」と答えた人の割合が28.7%と最も高く、「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」が続きました。

市庁舎跡地の活用

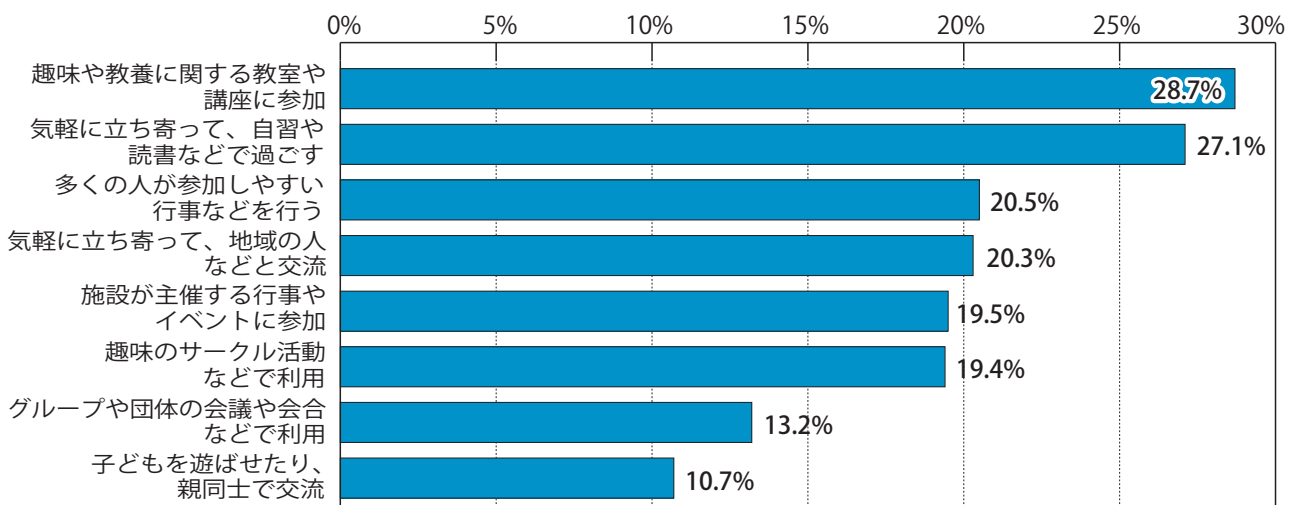
現在の市庁舎や分庁舎を解体した後「その用地の活用について、どのような期待をお持ちですか？」という問いへの回答結果は次頁中段【図5】の通りです。

【本庁舎】「誰でもいつでも憩える公園や広場」を「期待する」「やや期待する」

【図3】 市民交流センター利便性向上のための配慮事項（回答の多かった項目）※複数回答



【図4】 市民交流センターの利用の仕方（回答の多かった項目）※複数回答



と答えた人が54・4割と最も高く、『観光案内などの情報提供や物産販売などができる場』も50割を超えていました。【分庁舎】『子育てや高齢者などを支援する場』を「期待する」「やや期待する」と答えた人が43・5割と最も高く、『市民や観光客のための市営駐車場』も40割を超えていました。

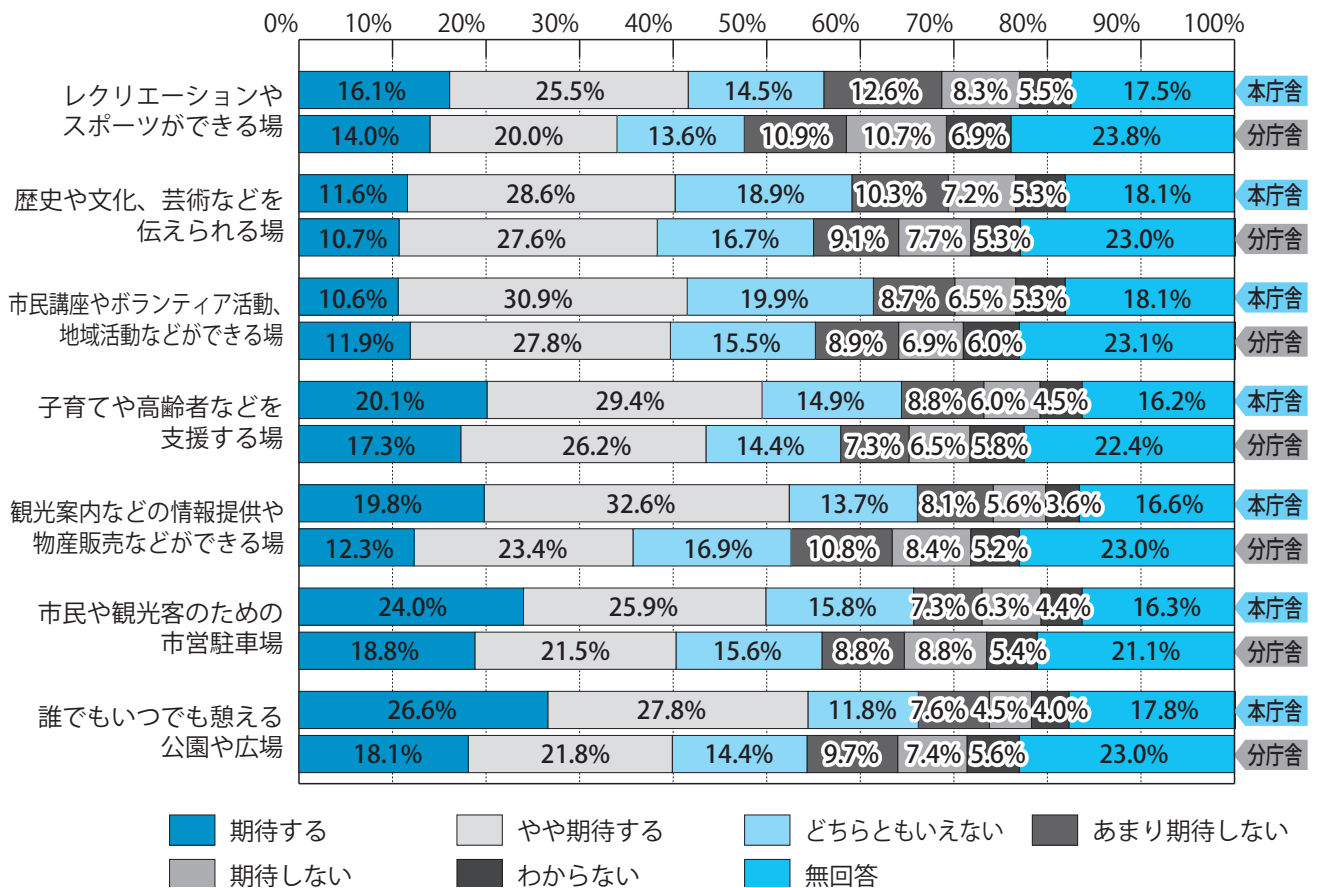
寄せられた意見・提案

自由記述では、次のような意見が多く寄せられました。(回答数は延べ360人)
▼事業全体 「計画の慎重な検討を望む」(32人) ▼市民交流センター 「気軽に利用できる施設にしてほしい」(15人) ▼市庁舎跡地の利活用 「公園や運動施設を作ってほしい」(8人)

今後の取り組み・課題

▼事業全体 設計段階では建物を立体的な表現で伝えるなど、より分かりやすくイメージしやすいよう配慮しながら取り組んでいきます。
▼市民交流センター 利便性を向上させるためには、親しみやすく立ち寄りしやすい工夫、個人利用のほか団体活動や地域の人との交流、家族での利用などを想定し、利用料金や運営形態などの検討をしていきます。
▼今後も市民の皆さまのご意見を伺いながら、事業を進めていきます。

【図5】本庁舎および分庁舎の跡地活用（回答数1080）



市民ワークショップを開催しました

8月1日に第8回市民ワークショップが開催されました。市内の高校生やNPO団体など、市民30人が参加。5班に分かれて、「私たちは、宮古のまちなかで、こんなふうに過ごしたい！～市庁舎跡地の過ごし方、食べ方、楽しみ方」というテーマで、各班1つのストーリーを作りました。4人家族の1日を描いた物語や、演劇による発表などもあり、活発な議論が行われました。

